

と も い き 共 生



2025年1月
Vol.16

社会福祉法人
札幌慈啓会 広報誌

TOMOIKI すべてのいのちに寄り添い、共に生き続ける

- 理事長ご挨拶、法人創立100周年記念告知 2P
- 中央区第2地域包括支援センターからのお知らせ 3P
- スタッフ紹介 ～外国人技能実習生を迎えて～ 4～5P
- 活動紹介 6P
- 認知症カフェ、後援会入会案内、苦情報告 7P
- 健康コラム、簡単レシピ 8P



慈啓会デイサービスセンター

理事長挨拶



札幌慈啓会理事長
太田 真琴

2025年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より札幌慈啓会に対して、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様より温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また、後援会をはじめとした多くの皆様よりご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨今は、新型コロナウイルスの猛威こそ落ち着きを見せたものの、社会情勢の変化や諸物価の高騰など、様々な要因によって福祉や医療の在り方も大きな変革を求められています。そのような中ではありますが、私たちの使命や責任は法人理念とともに変わること無く質の高いサービスの提供を続けてゆかねばなりません。

当法人では、地域の皆様が生涯にわたって「その人らしい」生活

を営むことができるよう、福祉と医療の両面からの支援を続けております。私たちの願いは、利用者の皆様が心安らかに充実した日々を過ごせるよう、そして地域全体が支え合い、互いに助け合う環境をこれからも創り続けることにございます。

また、職員一同がより一層の専門性を高め、ご利用者様一人ひとりの声に耳を傾けることを大切にしていくなさる所です。ICT化の推進や外国人材の登用など、時流に沿った運営や工夫にも力を注いでまいります。

時代の変化に伴い、私たちの活動がより一層求められていることを強く感じ、これからも変わらぬ思いで日々の業務に邁進してまいります。

令和7年は、当法人が創立100周年を迎える大きな節目の年となります。現在、複数のプロジェクトが進行しており、記念すべき年を大いに盛り上げるべく、今後様々な形で皆様にお示しをできることと思っております。

最後になりますが、本年もどうぞ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

100th
ANNIVERSARY

札幌慈啓会は 創立100周年を迎えます

令和7年10月5日、社会福祉法人札幌慈啓会は創立100周年という大きな節目を迎えます。当法人の前身は、浄土宗新善光寺住職林玄松上人が創設した札幌養老院です。1925年（大正14年）、お年寄りの健やかな老後を願い、仏教精神のもと、現在地である藻岩山の麓に建てられました。

慈啓会は、長きにわたり社会福祉活動を通じて多くの方々の生活に寄り添い、支え続けてまいりました。この100年の歴史には、戦後の復興期や高度成長期、そして現代の少子高齢化など、時代ごとの社会課題に因應するため

の努力が込められております。ご利用者様やご家族様、地域の皆様、そして後援会の皆様との絆が、私たちの活動を支え、励まし続けてくださったことに心より感謝申し上げます。

さて、100周年を迎えるにあたり、本年は様々な企画を検討しております。記念のロゴも、札幌大谷大学様との「産学連携」により作成をいたしました。そのほか、記念学会の開催や祝賀会などの実施。また、法人ビジョン発表などが予定されておりますので、ぜひともご期待ください。

これからも、どうぞ札幌慈啓会へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「令和5年度運営方針における最重点取組項目」において札幌市より最優秀賞をいただくことができました

中央区第2地域包括支援センターでは、法人理念「共生のもと、共生社会の実現を目指し、地域に根差した活動を心がけております。」

今回は令和5年度の取組「移動販売車を通じた地域活動」が「令和5年度運営方針における最重点取組項目」において札幌市より最優秀賞評価をいただきましたのでご報告いたします。

当センターが担当するエリアは、区内でも山・坂が多く、高齢と共に移動手段への困りごとが増えてくる生活課題を持つエリアとなります。うち、二つの町内会で「買物が大変」「高齢化が進み見守り機会が必要」との共通課題が見られました。

そこで、生活支援コーディネーター、介護予防センター、社会福祉協議会と連携し、それぞれの町内会と話し合い、そこに企業と施設のサポートが加わり、今回の取組が実

現することになりました。取り組みの様子は写真をご覧ください。

それぞれの町内会にある高齢者施設を拠点に移動販売車を招き、買物支援の場づくりを行いました。その結果、週1回の移動販売がある拠点（旭ヶ丘南町内会）では、買物するために外出するという運動機会に繋がる支援ができるようになりました。

また、もうひとつの拠点（荒井山町内会）では、月1回の買物機会に合わせて、住民同士が交流できる場づくりに繋がっています。

今後は両拠点ともに地域住民同士の関係づくりの場として、発展的な取組へ繋がっていくと考えております。引き続き地域の皆さま・関係機関の皆さまと共に、地域包括ケアシステムの推進に向け、邁進してまいります。



▲移動スーパーとくし丸



▲コープの移動販売カケル



▲カケルの内部



▲交流の様子

スタッフ紹介 外国人技能実習生を迎えて

ベトナムから2名の 実習生を迎えました

当院では、日本精神科病院協会管理団体を通じて、今年度ベトナムから2名の外国人実習生を受け入れました。申し込みからZoomによる面接を経て1年越しの受け入れとなりました。

外国人技能実習制度はもとも日本の技術・知識を途上国に伝えて、経済発展に寄与する国際貢献が目的でしたが、深刻な労働力不足と国際的な人材獲得競争の激化から人材育成と人材確保を目的とする育成就業制度に移行する予定で、原則3年の育成就業制度から5年間の特定技能1号に移行できるなどキャリアアップの道筋を明確化することで「選ばれる国」をめざし長期間産業を支える人材を確保するというものです。

2人のベトナム人実習生は6月21日管理団体の職員が同行して来院し、病院のスタッフと顔合わせを行いました。緊張した面持ちの2人でしたが、一生懸命覚えた日本語でちゃんと挨拶をしてくれて、日本語も大体わかるようで、翻訳アプリを用意していた私たちもホッとしました。

連絡はグループLINEで行うこととしたのですが、漢字は難しいかな？と、ひらがなで送ると、「漢字大丈夫で

すので普通に送ってください」と漢字で返事が来ました。わからない字は自分たちで調べて内容を理解して送り返してくれまのでやり取りも最初からスムーズでした。

現場の様子

現場のスタッフも「日本語はどのくらい話せるのか?」「まじめに仕事に取り組んでくれるのか?」と不安な気持ちがありました。いざ働き始めると、仕事を覚えようと、また患者さまの名前を覚えようと一生懸命メモを取り真面目に仕事に取り組んでいます。



スタッフとのコミュニケーションは違い、患者さまは、ほとんどの方が認知症であり、精神状態によって意思疎通が困難であったり、介護抵抗があったり、なかなかス

ムーズにコミュニケーションが取れないことも多い状況ではあります。臆することなく患者さまと積極的にコミュニケーションをはかり、真摯に関わっています。

最初は、緊張しながら患者さまに話しかけていましたが、最近は自然な笑顔で話しかけることができるようになりました。普段あまり笑顔がなく、お話しをされない患者さまも彼女たちと意思疎通をはかるようになり、彼女たちのコミュニケーション能力に驚くとともに、気持ちの伝わる介護を行っていると感じています。

患者さまに対する接し方をみていると、私たちスタッフも初心にかえりコミュニケーションについて勉強させられているとともに、彼女たちとのびりの笑顔に癒され、病棟の雰囲気も和やかになっています。

今後も、技術面の指導はもちろんのこと、本人たちが笑顔で仕事ができるように指導者をはじめ病棟全体でサポートに努めたいと思います。



インタビュー

●日本に来ようと思ったきっかけ

アインさん
子供の頃から日本文化に触れてきたおかげで、日本に興味を持っていました。私はベトナムで看護学校を卒業しており、困っている人を助けたいと常日頃から思っておりました。日本は医療・介護が進んでいる国の一つであり、患者さまをサポートするためのケア技術や知識を学びたいと思ひ、夢を実現する場所として日本を選びました。

ランさん
子供の時から、漫画とアニメが大好きで、漫画とアニメを通して、登場人物の性格と暮らし方を知ることができました。日本は美しいし、人も礼儀正しいし、それに、文化も新しい文化、古い文化があったり、面白い話があったりします。それで、いつか日本に行きたいと思っていました。介護を日本で学びたいと思ったきっかけは、6年前に母が両膝を手術した際にお世話をするのが難しく、介護技術があればきちんとお世話をすることができたのと思ったことです。母はみんなに助けてもらいましたので私も人を助けたいと介護の道に進むべく、介護技術が進んでいる日本を選びました。

●日本に来てみて驚いたこと

アインさん
日本に来る前は、日本人はとも気難しくて真面目で近寄りたいたいと思っていました。しかし、日本に到着するとすぐに間違っていることに気づきました。みなさんとても可愛くて、いつも明るくて愛情深く迎えてくれて、困った時や分からない時はいつも優しく丁寧に教えてくれます。また、日本食はとも美味しいです。納豆は栄養価が高くおいしい料理で、ご飯と一緒に食べるのが大好きです。

ランさん
色々なことが初めてで、一番驚いたことは緑が多いことです。名古屋や札幌の中心にいても、周囲の丘や山が見えます。空気がとも新鮮です。

●休日どのようなように過ごしていますか

アインさん
私たちは毎週末を楽しみにしています。特に札幌は多くの観光客が訪れる場所なので、探索できる場所がたくさんあります。毎週末土曜日は、北海道神宮、豊平館、札幌駅、テレビ塔などの有名な場所や景勝地を訪れたり、ただ一緒に歩いたり、近くの公園まで自転車で行ったり、山に登って街を眺めたりして過ごします。日曜日には家と一緒に休み、料理をしたり、家の掃除をしたりします。最近では、今年12月に開催されるJLEPT日本語能力試験N3レベルに向けて、日本語を勉強しています。

ランさん
休日はアインさんと一緒に近くの娯楽の場所とか神社とか文化を学ぶ場所に行きました。例えば、大通公園、中島公園や北海道神宮や札幌市資料館など、すごく面白かったです。最近、藻岩山に登りました。ちょっと疲れましたが気持ちよかったです。あとは色々な所に行って、学んで、経験したいです。

●好きな食べ物は?

アインさん
とても美味しい納豆のほかに、メロンを食べることも大好きです。北海道産のメロンは香りが良く甘くてジュシーです。この牛乳は香り高く美味しくて栄養たっぷり、味噌汁も質素な味でとも口に合います。

ランさん
日本料理には美味しく栄養価の高い料理がたくさんあります。牛丼とかたこ焼きとかアイスクリームは好きな食べ物です。たこ焼きは一番好きな食べ物です。

●行ってみたいところはありますか

アインさん
北海道以外にも、秋田に「なまはげ」を見に行ったり、火の玉を回して幸運を祈るお祭りがあったり、たくさん場所を訪れたいと思っています。東京ドームに行ったり、沖縄の海を見に行ったり、まだまだ探検したい場所がたくさんあります。

ランさん
はい、日本で色々なところに行ってみたくて、北海道のほかにも京都にも行きたいです。京都は日本の文化の中心地であり、主要な観光地であると考えています。

●職場の雰囲気はどうですか

アインさん
私にとって仕事に行くのは毎日が幸せで、皆さんを助けたり、患者様の世話をしたり、皆さんの新しいことを学んだり教えていただいたり、いつもみんなが快適でダイナミックな環境を作り出しているの、私たちも迷うことがありません。そのおかげで、私たち一人一人のホームシックは徐々に和らぎ、患者さまや皆さんと人生や仕事についてのお話しをするようになり、多くのことを学びました。本当に暖かくていつも感謝しています。

ランさん
初めて病院で働くので、言葉の壁とか新しい仕事に心配しました。それで、ベトナムから一生懸命日本語と介護の知識を勉強しています。日本に来て、職場で働いて、驚きました。皆さんはとも優しく、お世話になりながら教えてもらいました。本当にとも感謝しています。

●将来の目標を教えてください。

アインさん
学んだことを活かして社会に貢献したいです。ベトナムで得た看護の知識だけでなく、介護の勉強をするためにいるような国に行きたいです。特に機会があれば、もう一度日本に来たいと思っています。

ランさん
日本にいる間、まずは頑張って、しっかりと仕事をして、日々より多くの経験を積んでいきたいです。その後、勉強して日本語N1を取るつもりです。

プロフィール



THẠCH THỊ KIM ANH

タックティキムアインさん
TRAVINH省南部出身
好きな言葉「感謝」



ĐẶNG MỘC LAN

ダンモクランさん
HOCHIMINH市南部出身
好きな言葉「七転び八起き」

慈啓会特別養護老人ホーム

ご入居者様とご家族の絆を深める施設へICT化と交流の再開

当施設では、今年度から介護の質向上と職員の業務効率化を目指し、介護ロボットの導入・ICT化を推進しました。インカムの導入により職員間の連携が強化され、見守りカメラの設置によりご入居者様の安全がさらに確保されています。また、介護記録ソフトの更新・スマートフォンおよびタブレット端末の導入により記録業務が効率化され、より一層の質の高いケアを提供できる環境を整えております。

また、施設の活動としては、昨夏の夏祭りからご家族様にもコロナ禍前と同様に行事参加いただ



き、9月の敬老会でもご入居者様の長寿を一緒にお祝いするとともに、日頃の感謝を込めた式典を行いました。最高齢106歳のご入居者様をはじめ皆様とお祝いができ、ご家族様と職員と一緒に笑顔あふれる特別な時間を過ごしました。また、10月からは大幅に制限を緩和し通常面会を再開し、ご入居者様がご家族様と過ごす機会を少しでも多く持てるよう努めております。これからも、地域に根差したより良いサービスを心がけ、ご入居者様とご家族様、そして地域の皆様が安心して過ごせる施設作り

札幌市稲寿園特別養護老人ホーム

札幌市稲寿園は、従来型多床室(定員100名)の特別養護老人ホームであり、ユニット型が主流となる中、比較的低料金で入所できる施設として地域に選ばれております。今年度はコロナウイルスの5類移行に伴い、面会制限緩和について職員一同で協議を重ね、令和6年4月より平日の居室面会再開、6月より土日祝日の面会も再開。10月から面会時間を15分から1時間に拡大したことで、今一度、当施設の対応を見直す機会にもなりました。ご家族様からは制限緩和について大変ありがたいお言葉をいただいたしており、今後も当施設の取り組みとして精進していきたく思います。また、行事に関しましては夏祭り、敬老表彰共にご

家族様参加型で開催し、夏祭りには67名のご家族様に参加いただき屋外で開放的な雰囲気味わっていただきました。ご入居者様とご家族様の笑顔溢れる姿は職員も大変嬉しく感じました。今後も職員一同、「和顔愛語」の精神で職務に努めてまいります。



認知症カフェ「ともいきカフェ」を開催しています!



認知症カフェとは、認知症の方やご家族、地域住民、福祉の専門職など、どなたでも気軽に参加でき、これからの不安や今の困りごと、思いを分かちあい、リラックスしながら気軽に集える場所です。中央区には5箇所のカフェがあり、慈啓会では平成28年より活動を開始。通算15回の開催をしております。途中、コロナ禍により令和2年2月開催が中止を余儀なくされたのち、令和6年2月の再開まで休止期間を挟むこととなりました。再開第一弾は新善光寺にて、第二弾は観音寺

を会場に多くの皆様にご参加をいただきました。以降年3回の開催として再開しておりますので、ご興味のある方はぜひともお問い合わせ・ご参加を頂ければと存じます。

また、中央区内の全カフェが合同で実施する「ひだまりカフェ」や、Zoomを利用したWeb開催の「ひだまりカフェ in ZOOM」なども実施しております。併せてご紹介いたしますとともに、こちらにもご参加いただけますと幸いです。今後とも、ともいきカフェを何卒よろしくお願い致します。

ひだまりカフェ in ZOOM
ちょっと気軽に「つながり」ませんか?

ひだまりカフェは、認知症の方やご家族、地域住民や専門職の方、認知症について関心のある方など、どなたでも気軽に参加できる場所です。Zoomを利用したWeb開催の「ひだまりカフェ in ZOOM」も実施しております。併せてご紹介いたしますとともに、こちらにもご参加いただけますと幸いです。

日程：①10月15日(水)の午前中
②11月19日(水)の午後
③12月17日(水)の午前中
④1月13日(水)の午後
⑤2月18日(水)の午後
⑥3月18日(水)の午後

時間：14:00-15:00 (途中参加も自由です)
開催方法：Zoom (PC・スマホでの参加も可)
申し込み：希望の方はメールにてご連絡ください
先着：kaida-ma@keijinkai.or.jp
記載内容：①お名前 ②電話番号
※お申し込み後、お電話でご確認ください。お申し込み後、お電話でご確認ください。

ひだまりカフェ
2025年1月14日(水) 14:00-16:00

14:00-14:30 「自費で心からラッパッシュ」
14:30-14:50 札幌市内の認知症カフェ
14:50-15:00 リラクゼーション体験
15:00-16:00 交流会 (休養会)

申し込み先：札幌市保健福祉局 福祉課 011-205-3305



▲写経体験



▲座談会

第15回 ともいきカフェ
～人と人をつなぐ絆を深めよう～

2024年9月18日(水) 13:40-15:30

お申し込み先：札幌市保健福祉局 福祉課 011-205-3305



▲鐘撞(かねつき)体験

後援会加入のお願い

社会の高齢化が進み、高齢者福祉の必要性、重要性が高まるなか、会員の皆様のご協力、ご支援は慈啓会の運営において大きな支えとなっております。慈啓会後援会では、一人でも多くの方の新規ご加入をお待ちしております。札幌慈啓会後援会事務局 TEL:011-561-8291

苦情報告の公表について	令和6年4月から令和6年9月までにいただいた苦情は以下のとおりです。 苦情件数：2件 申出内容：職員の言動について(2件) 説明、情報提供に関する苦情(1件) 重複あり 対応：速やかに状況の確認と内容の検討を行い、対応を行いました。また、申出者に対してご説明や謝罪等の対応をいたしております。 第三者委員会：令和6年12月3日(火)に苦情解決第三者委員会を開催しました。
-------------	---

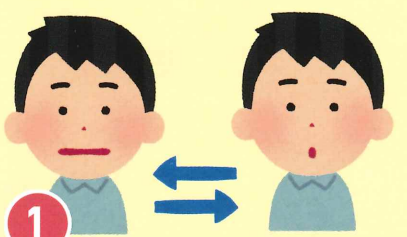
いつまでも口から 美味しく食べるために

慈啓会病院
言語聴覚士 福井 章子

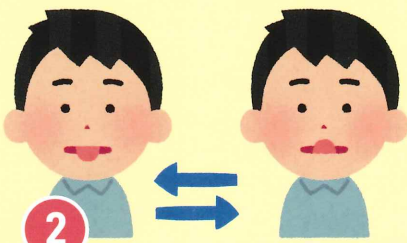
年末年始は美味しい物がたくさん食べられる時期ですね。皆さんは食事を楽しむことができましたか？

さて、高齢になると口や喉の筋力が落ち、食べる力・飲み込む力が衰えていきます。するとムセや誤嚥が起こり、肺炎になってしまうことがあります。いつまでも食べたい物を口から安全に食べられるように嚥下体操を行い、誤嚥を予防していきましょう。

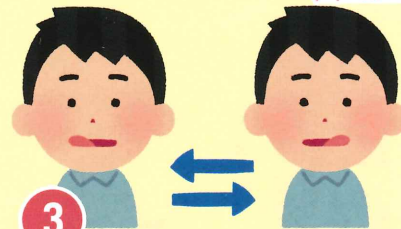
POINT!
これ以上動かせない！
というくらいまで
思い切り動かすこと！



1
左右に引いて「イー」、唇を突き出し「うー」。交互に10回。



2
舌を前に出す、鼻先をなめるイメージで上に反り上げる。交互に10回。



3
舌を左右の口角につける。交互に10回。

4 最後に唾を3回ごっくん

野菜プラスで健康寿命もプラス!

簡単レシピ

施設でもご好評いただいているヘルシーで簡単に調理できる1品をご紹介します。

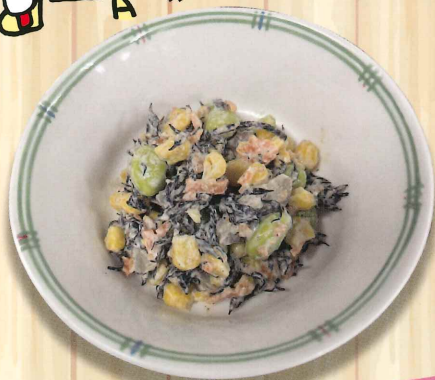
特別養護老人ホーム札幌市稲草園
管理栄養士 新井田 洋子



《ひじきの彩りサラダ》

一人分の栄養価

エネルギー 64Kcal、たんぱく質 2.0g



【材料】(2人分)

- ひじき 2g
- 冷凍むき枝豆 20g
- 冷凍コーン 15g
- にんじん 20g
- ごぼう 25g
- すりごま 2g (小匙1杯)
- マヨネーズ 8g (小匙2杯)
- 濃口しょうゆ 2g (小匙1/3杯)
- こしょう 適量

【作り方】

- ①ひじきはざるに上げて水洗いし、水に浸けて戻します。
- ②ごぼうと人参、戻したひじき、枝豆、コーンを茹でて冷ましておく。
- ③②の材料の水気をよく切り、調味料で味を調えます。

ひとくちメモ

食物繊維が豊富な1品で、1人分で2.7g(成人に必要な食物繊維量の約1/7量)摂取できます。

子ども向けにさいの目チーズや少量の砂糖を隠し味にしても喜ばれると思います。

食物繊維には便秘を整える作用以外にも、血糖値の上昇を防ぐ働きや血中のコレステロール濃度の低下など生活習慣病予防に関わる重要な働きがあります。多くの日本人が不足気味ですので、積極的に摂取することをお勧めします。

表紙題字揮毫：「共生」

長谷川白羊 (はせがわはくよう) 書。

昭和4年札幌市生まれ。本名・悦以(よしつぐ)。法政大学文学部卒。昭和35年山口羊に師事。平成2年「札幌と書」(札幌市教育委員)に於いて「札幌の書家」百選に選ばれる。平成6年個展開催(於札幌大丸藤井セントラル)

表紙写真：「慈啓会デイサービスセンター」

広報誌「共生」2025年1月 Vol.16

編集発行／社会福祉法人札幌慈啓会

[法人本部] 〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
(慈啓会特別養護老人ホーム1F)
TEL011-561-8291 FAX011-561-8298
<https://www.sapporojikeikai.or.jp>

